

【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

税金に感謝

人吉市立第二中学校

二年 西 勇成

僕は、今年5月22日の朝4時頃に、今までに体験したことのない腹痛で目が覚めました。痛み止めを飲んでも治らず、うずくまっていました。

それから気付いた時は、僕は救急車で人吉医療センターへ運ばれていました。その日に緊急手術が行われ、病院の先生からは、救急車で人吉医療センターに運ばれたから、すぐに手術をすることができて最悪の状態をまぬがれることができた事を告げられました。僕は病室のベッドの上で、救急車や病院の先生方に感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

税金について学んでいて、その日の事を思い出した僕は、お世話になった救急車の出勤費には、税金があることで無償となることを知りました。調べてみると、日本では救急車の運用は、行政サービスのひとつとされていて、その費用は私たちの税金で賄われています。原則無償で利用できていて、一回出勤するのに必要な費用が、諸経費込みでおよそ4万5千円かかるそうです。僕はその金額を学び、再び感謝させられました。

日本とは違い、海外の多くでは救急車を使用するたびに料金が請求されるそうです。一回あたり、アメリカでは約4万円、ドイツでは2〜7万円、オーストラリアでは、0〜16万円、フランスでは、8千円〜1km移動することに約3百円加算、中国では千円前後と国ごとでさまざまな料金だったのでビックリしました。

数日間の入院中に、救急車で運ばれてくるサイレンを何度も耳にしました。こんなに救急車で運ばれて助かっている方がいることを入院中に感じた僕は、税金がどれだけ国民にとって必要で大切なものなのかを、あらためて認識することができました。

このように、税金は僕たちの身の回りのいろいろなものに使われていて、国民の負担になるから必要ないんじゃないかと思う人もいますが、税金によって、国民の生活がどれだけ支えられているか理解して、全ての人にきちんと納めていってほしいと思います。